

生タイプ

セメント系高流動無収縮材グラウト材

# エッセイバー® 250

(漏出抑制型)

## ▶ エッセイバー 250 の特長

**高流動**

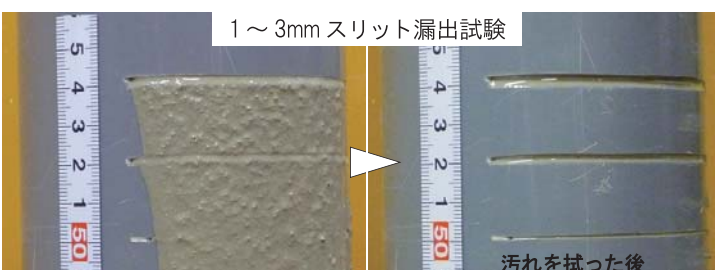
5mm 間隙注入試験



エッセイバー 250 は高い水平流動性および自己充填性があります。**5mm 程度**の小間隙への注入・充填が可能です。

**漏出抑制型**

1 ~ 3mm スリット漏出試験



エッセイバー 250 は漏出抑制型です。5mm 間隙を充填できる高い流動性をもつ一方で、微細な間隙からは漏出が起こらない画期的な流動特性を有しています。スリット漏出試験（上図）に示すように、**3mm 以下の小間隙からの漏出は速やかに停止**します。漏出が停止した後に再漏出することはありません。

**ノンブリーディング**  
**・無収縮**

ブリーディングや材料分離は発生せず、硬化後は長期的に無収縮を保ちます。

**施工性**

適度な粘性があり、打ち下ろしや長距離ポンプ圧送、トレミーによる水中注入等、様々な施工方法に対応できます。

**高強度**

材齢 28 日での圧縮強度は、**45N/mm<sup>2</sup> 以上**が発現します。

※20℃封かん養生の場合

**生タイプ**

エッセイバー 250 は、弊社従来品と同様に生コン方式で供給する**生タイプの製品**です。専用プラントで製造したスラリーを、現場まで生コン車で納入致します。

全国各地の専用プラントから製造・出荷しています。製品の供給に関するご質問は裏面の最寄の連絡先までお問い合わせ下さい。



生タイプ製品の専用プラント



荷姿：生コン車 (1.0 ~ 4.5m<sup>3</sup>/車)

## ▶ 適した用途

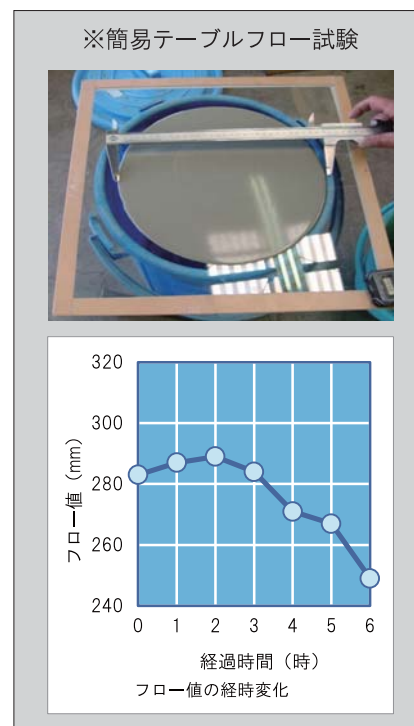
- 建築耐震補強
- 橋脚の鋼板巻立補強
- 各種基礎グラウト工事
- 高強度仕様の構造物の隙間充填
- 長距離圧送、長時間作業のグラウト工事
- その他グラウト工事一般

## ▶ 材料および配合

- 使用材料
  - ・セメント : 高炉セメントB種
  - ・骨材 : 石灰石細骨材
  - ・混和材 : 高性能減水剤、増粘剤、消泡剤
- 標準的な配合
  - ・水結合材比 : 約 50%
  - ・砂結合材比 : 1.5 ~ 1.7
 (配合は目安であり、季節によって若干変動します)

## ▶ エッセイバー 250 の物性値（20℃環境での室内試験値）

		試験値	社内品質基準	試験方法
水結合材比		51%	—	—
単位容積質量 (g/cm <sup>3</sup> )		2.13	—	JIS A 1116
フロー値 (mm)		283	240 ~ 320	簡易テーブルフロー試験 (φ5×10cm)
J14 漏斗値 (秒)		15.8	—	JSCE-F541
3mm スリットからの漏出停止時間		4 秒	—	スリット漏出試験 (当社法)
凝結時間	終結	12 : 45	24 : 00 以内	JIS R 5201
ブリーディング率 (%)	24hr	0.0	0.0	JSCE-F522
膨張率 (%)	24hr	0.0	0.0	JSCE-F522
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	3 日	19.6	—	JSCE-G505
	7 日	39.9	—	
	28 日	58.3	45 以上	



※上記の物性値は恒温室で試験した測定例であり、性能を保証するものではありません。また改良のため予告なく変更する場合があります。

## ▶ 使用上の留意事項

- ◆ エッセイバー 250 は、専用プラントで厳密な品質管理のもとで製造されています。現場での加水等は絶対に行わないで下さい。
- ◆ エッセイバー 250 は漏出抑制型のグラウト材ですが、3mm 超の粗大な隙間からは漏れ出すおそれがありますのでご注意下さい。また液圧（単位容積質量 × 打設高さ）を考慮して、型枠等のハラミ防止の対策をお願い致します。
- ◆ 施工後に著しい乾燥を受けると、痩せやクラックを生じる危険があります。激しい通風や直射日光が当たる部位には、適切な養生を行って下さい。また暴露状態におかれる部位には、防水性の樹脂等の材料で表面をコーティングし、乾燥を防止して下さい。
- ◆ 外気温が著しく低い場合には、5℃以上となるよう保温養生を行って下さい。
- ◆ 現場で採取した圧縮強度用供試体は、採取直後にラップ等で密封して水分蒸発を防いで下さい。

## ▶ 安全上の注意事項

- ・ 本製品を取り扱う際には、安全データシート（SDS）をお読み下さい。
- ・ 取扱いの際には、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・ 本製品はセメントを使用していますのでスラリーは強いアルカリ性を示します。長時間皮膚に付けないよう、目や鼻や口に入れないようご注意下さい。万一入った場合は直ちによく洗浄し、症状に応じて専門医の診断を受けて下さい。
- ・ その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

(2015 年 10 月 1 日改定)

## 日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川 1 丁目 16 番 14 号（アクロス新川ビルアネックス） ☎03-3523-0947 ~ 8  
 名古屋グループ 〒470-1219 豊田市畷部西町昆布池 22 番 1 号（大嶽安城豊田生コン工場内） ☎0565-25-0107  
 大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2 丁目 3 番 3 号（桜橋西ビル） ☎06-6342-5880  
 九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町 5 番 18 号（博多 NS ビル） ☎092-283-0311  
 本社 SL 事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町 16 番地 ☎093-563-5118